

川議論（予算委員会より）

凡例 野)野党側質問 政)政府側答弁

野) 昨年「虹の架橋法(案)」が来世側の拒絶により、批准されなかったにも係らず、川に橋を架ける事業が着々と実施・執行されているのは事実であるか。

政) 着々との表現は別として、事実である。粛々と進めている。

野) その予算措置は。根拠は。

政) 国民（現世）滞留者の円滑な低減を図り、国民の福祉に資するところの国民（現世）滞留者削減特別措置に関する政令に基づき、特別会計予算にて執行されている。

野) その原資は。

政) 係る当該緊急事態に対応すべく、各省庁広く横断的に予算を捻出集約し、国民（現世）滞留者削減の果実をそれに充当する。着手のみでさえ、その効果には期待できる。

野) それは、所謂現世滞留者に早く逝けと言っているのと同義であると思うが。

政) 良いか悪いかは別として、そうしてくれと願う方もいらっしゃる事実がある。

野) 政府は、そんな極悪な願いを叶えようと推進しているのか。

政) 願い云々には直接配慮はしていない。滞留の解消のみを実現しようとしている。

野) そもそも、その「滞留」と「解消」の表現や思想が極悪と言っているのであり、昨年も議論したが、憲法違反ではないのか。基本的人権の毀損である。

政) 先ずは「滞留」の事実を認め、目をそむけずに直視して欲しい。次にその「解消」が無い限り本邦の存続が危惧される事実を認識して欲しいし、喫緊の課題でありかつ最重要な課題であることを共通の認識として一致すべきであり、それでも拒むのであれば代替案を速やかに提示して欲しい。これが多くの国民の望むところと考えるのは自然だ。

野) 政府が考えるその「国家存続の危惧」とは「財政」のことではないのか。

政) 本邦のファンダメンタルズは強固であり揺るぎないものである。

野) なんで財務大臣が発言するのか。指名していないし、何がファンダメンタルズか。

守られるべき人々を減らすことによる予算削減を実現するのか。そして、その一つの医療費削減、その一つの年金総支出削減、そうして所謂現世滞留者を切捨て、その果実により財政の基盤保持を図るのではないのか。遍く守るべき国民を仕分け切り捨てるのか。

政) 守るべきは全国民の命であり、関連予算の一つである防衛費は削減しない。

野) 「一億総活躍」を標榜するが、当局公表の統計によると本邦の人口は概ね1億2687万6千人。2687万6千人は切り捨てなのか。だから国家の支出が減るのか。国民の意見>あつ。そうか俺2687万6千人の方が。現世滞留者なのか。生きる。

【川】川に例えた現世-来世の境界。実体のない論理的・概念的な(境界)河川。